モニターのここに注目

今月は藤井　博さんが登場します。
藤井さんは、古城山公園の猿の飼育について提言されます。

猿の飼育は本当に必要なのでしょうか！

古城山公園の一角に、以前から動物（猿、ウサギ）を飼っている檻がありますが、みなさんはご存知でしょうか。

30年位前には、多くの人が訪れていたような気がしますが、現在では春の桜の時期を除くと、あまり人は見かけないようです。この動物たちは公園を訪れた人を楽しませるために設置されたものと思われますが、現在の状況を考えますと、はたして必要なものなのでしょうか。

現在、我が家には犬を飼っていますが、動物を飼うということは大変なことであり、少なからず維持管理の経費は必要であります。個人的には古城山公園の動物は最寄りの動物園に引き取って頂くのがよいのではないかと思う。

こういった内容の提言を市役所に行いました。担当課からの回答は、

①飼育をやめることについて過去（平成6年～7年度）にも検討したことがある。

②以前から桜と猿で多くの人から親しまれてきた。

③過去、動物園に猿の引取りをお願いしたが、断られたことから引取先がないため引き続き飼育している。

④飼育の経費としては、動物舎の清掃費とエサ代として年間１００万円の経費で飼育している。

⑤今後については、原則として猿の飼育は継続とし、無償で猿の飼育を引き受けてくださる人が現れた場合は、猿の飼育を継続するか取りやめるかを再検討し、飼育をやめる場合には「広報かさおか」や新聞などで広報し、その結果ご理解いただけたと判断できれば飼育の取りやめを実施したい。

問題なのは

この回答の中で最大の問題点は④だと思います。

現在笠岡市の財政は本当に厳しい状況であることは市職員のみならず、市民のみなさんはよくご存知のことであります。この猿の飼育に年間１００万円（10年間で１，０００万円）の経費は本当に必要なのでしょうか。

私は会社員で、先日平成18年度市民税の通知が届きました。昨年度は一昨年度に比べ年収が約15万円増えたのですが、市県民税は約7万5千円増えました。結果的には増えた所得の半分は税金ということになります。私にとっては貴重な税金を納めているわけです。この貴重な税金を使って、年間１００万円経費の掛かる猿の飼育を継続して本当に良いのでしょうか。市民のために他に有効、有意義に使うべきではないのでしょうか。

はたして、これだけの経費を掛けて、猿（ウサギ）の飼育していることを周知理解されている人はどれくらいいらっしゃるのでしょうか。

また、③の回答内容は消極的で、現状は問題だけど解決方法がない。そんな感じにとれます。

また、⑤の回答内容では、一度決めたことは少々のことでは変えない。まさにお役所的な回答だと感じます。

中長期的に考えれば

なぜ年間１００万円もの貴重な税金を掛けて、猿の飼育の継続にこだわるのか、貴重な税金をちゃんと納めている、一市民として理解できません。

今回のことについては、中長期に考えれば、持参金付きにしてでも、引取先を探すのもひとつの方法ではないかと考えます。

このページのご意見・ご感想をお待ちしています。
また、「市政についての質問・提言」などがあれば併せてどうぞ。
お便り…〒七一四―八六〇一　笠岡市中央町一―一
企画政策課モニター係
☎㊾２１１０　FAX㊸０２２８